



2026年1月26日(月)
全日本食品株式会社

本社に蓄電池の設置とともに 太陽光発電設備を増設 —BCP 対策と脱炭素の両立を推進—

全日本食品株式会社（以下、全日食）は、BCP 対策の強化および脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、本社に蓄電池を設置するとともに、太陽光発電設備を増設し、2026年1月より稼働いたしました。

本取り組みにより、災害等による停電発生時でも、本社の重要業務を継続するための電力を確保いたします。また、再生可能エネルギーの活用拡大を通じて、環境負荷低減を推進してまいります。

全日食では、本部・加盟店の省エネルギー対策として、加盟店の冷蔵ショーケースや照明などの設備更新の推進、節電マニュアルに基づいた店舗運営指導、物流の見直し（共同配送、物流拠点、配送コース、配送頻度）、省エネセミナーによる従業員、加盟店への省エネ活動啓発などを行っています。

■ 今回導入した太陽光発電システムの概要

自家消費型太陽光発電システム

10.8kW パネル 24 枚 蓄電池 15kWh

導入場所 東京都足立区入谷 6-2-2 屋根上(太陽光増設)

1 階駐車場横 (蓄電池)

